



阿南市の花「ひまわり」の花言葉は、「光輝く」です。人権について考え守っていくことが、まさに光り輝く阿南市づくりにつながります。人権教育・啓発コーナー「ひまわり」では、人権に対する思いを掲載していきます。

子ども会の存在することのありがたさを理解し、今後も続けていけるように協力していきたいです。

### ②さまざまな人権問題に取り組むという事

子ども会の保護者会会長をしていただくころ、まず小学校で行っている人権学習を保護者や地域の人が理解することが大切だと思い、よく当時の校長先生を訪ねました。

小学校の玄関に「つねに君らしくあれ ひとりぼっちにたじろがず」と大きく書いた文字が飾られています。校長先生が「この言葉をどう思いますか？」とよく問われた言葉です。人それぞれ違うと思いますが、私はこう理解しています。自分に起こった問題に自ら取り組み、たとえ一人になったとしても個人の考えとして自信を持って立ち向かってほしい、という言葉だと。

教えられたことで無く、自分で掴んだ答えは自信になり、たとえ間違っていたとしても、自分の経験として納得して受け入れられるからです。勉強・進路・人間関係と悩みはいろいろですが、まず自分の考えはどうなのか、自分に問い続け、不安でも一歩前にふみ出してほしい。私も身もそうしなければいけないと思います。そうして付けた個人の力が、これから出会うかもしれない、さま

ざまな人権問題に立ち向かえる力の基礎になると私は思っています。

### ③次の世代へ

子どもの頃、学習会に通っていました。自分自身の人権課題として、一つの人権問題に取り組んで来ましたが、今はさまざまな人権問題に取り組んでいます。

問題によれば、差別する側の立場になってしまっている時もあります。しかし、それに気付く努力をします。それは、小さい時から同和問題に取り組んできた経験があるからです。また学習会は、大切な仲間がいて、地域の人と人権について話し合った厳しくて、あたたかい、家庭以外の自分たちの居場所でした。

私は、さまざまな人権問題を解決していく上での、すべての要素が詰まっていたこの環境を次の世代にも残していかなければならないと思っています。町の歴史から先人たちが取り組んだ運動や知恵や工夫、その裏にある熱い思いを感じてほしいと活動している先輩方を見習い、私も一歩ふみ出してみようと思います。

## まず、一歩前へ

阿南市人権教育・啓発講師団講師

加美 美紀さん

### ①人権ふれあい子ども会に参加して

市内の小学校で行われている阿南市人権ふれあい子ども会に参加して、9年目になります。私が参加している中野島小学校の子ども会の名前は、「すぎな子ども会」といいます。人権ふれあい子ども会は、平成16年に市事業としてスタートし、さまざまな人権問題について共に学び、解決できる仲間づくりを目的にしています。

現在、小学生15人、中学生10人が活動しています。週1回集まって勉強をしたり、年間行事のお祭りの

私たちは保護者の願いは、子どもが自分を大切にし、他人を思いやり、幸せに生きていくことです。その思いがつながることです。人権を大切にする町になっていくと思うからです。そのために、保護者は子どもたちに人権の大切さを学んでほしいのです。しかし、人権を子どもたちに伝える知識が乏しく、時間や機会が少ない保護者が大半ですが、保護者の力不足を小学校や中学校の先生方が積極的に補ってくださいています。先生や指導員の先生の負担で成り立っているような子ども会にならないように、私たち保護者

### 問い合わせは

人権・男女参画課

(☎22-3094) へ

